

まごころだより

2022年 7月号

“ネイルアート”

今月は趣向を変えて利用の方にネイルアートを勧めました。ネイルが何なのか理解されていませんでしたが、爪に可愛い絵を描くようなマジキュアだと説明すると快く承諾され、どんなものなのか興味深く見ておられました。最初の方の爪を見て、私もして欲しいと5~6人がされました。僅か一か所だけのネイルでしたが、指を掲げてとても嬉しそうでした。高齢の爪ということで少し心配をしましたが、3週間過ぎても弊害は無く取れずに綺麗に残っています。時々眺めて楽しんでいるのだと言われます。女性は



幾つになってもオシャレがお好きなのですね。

“踊り教室”

話の流れでやる気が出たのか、踊りを教えてあげましようというリクエストに応じて“ちょうろく”の振りを伝授してもらいました。盆踊りで定番だった“ちょうろく”は気持ちを高揚させてくれるテンポのいい歌の調子で、地域住民の老若男女に昔から親しまれたものです。最近ではイベント等でよく披露されていますが、年配者は今風の動きに合わせるのが少し困難です。ですが高齢の方でも機会があれば踊ってみたい



たいと言う人が沢山おられると思います。どこからか曲がきこえてくると何となくワクワクしてきますよね。

“パズル?に挑戦”

誰かがしていたルービックCをあんなに簡単に出来るものなら自分もと思われたのか、おもむろに手にされて始められました。そもそもどうやるのかも分かりません。やみくもに触っていると、動かし方がわかってきました。それと同時にその難しさも分かってきたようで、



これは自分には無理なものかと思ひ始めて辞めてしまわれました。どう慰めたらいいものか言葉を選びましたが、挑戦してみようという気持ちが大事ですよと言いましたが慰めにはなりません。ゲームにはある程度の達成感が必要なのだと改めて思いました。

“花摘み”

最初は草むしりと思っていたのですが、思いのほか綺麗な花が咲いていて、このままでは枯れてしまうし、どうせなら摘んで花瓶で飾ろうということになりました。摘み始めると結構楽しいのか夢中になってとても嬉しそうです。集中力が途切れることなく続きましたが、その時の表情はとても生き生きとしていました。

